

山中山希少個体群保護林

管轄森林管理局・署	中部森林管理局・飛騨森林管理署
所在地	岐阜県高山市庄川町河戸
面積	1.99ha
設定年	平成4年3月設定・平成30年4月変更
保護林の概要 (設定目的)	岐阜県に生育するミズバショウの内、最南限に分布する貴重な群落であるためその保護を図る。



モニタリング調査の概要

実施年度	平成30年度
調査項目	森林詳細調査(樹木の生育状況調査、下層植生の生育状況調査、病虫害・鳥獣害・気象害の発生状況調査、高山植生等調査)、その他の調査等(資料調査・聞き取り調査)
調査手法	森林詳細調査として調査プロットを1箇所設定し、樹木の胸高直径、樹高の計測及び植生の種組成の概要を把握する。森林詳細調査(高山植生等調査)として調査プロット(5m×5m)を2箇所設定し、プロット内に出現した種について、階層ごとに種名、被度・郡度を記録すると共に、プロット内の主要な種の分布状況を模式図で記録する。
結果概要	確認できた影響「ア:野生鳥獣、カ:その他(陸化)」 概ね良好に保護・管理されている。 本年度は、湿地内にニホンジカが侵入し、ノリウツギに食痕が確認された。これは豪雨災害により電気柵が管理できなかった影響で単年度的な被害であることから、電気柵の維持管理が続けられる限り、大きな変化はないと考えられる。ただし、電気柵の管理労力がかかる。 また、湿地の陸化の進行が懸念される。 よって、引き続きモニタリングを継続することが適当である。